

浦川原区の概況

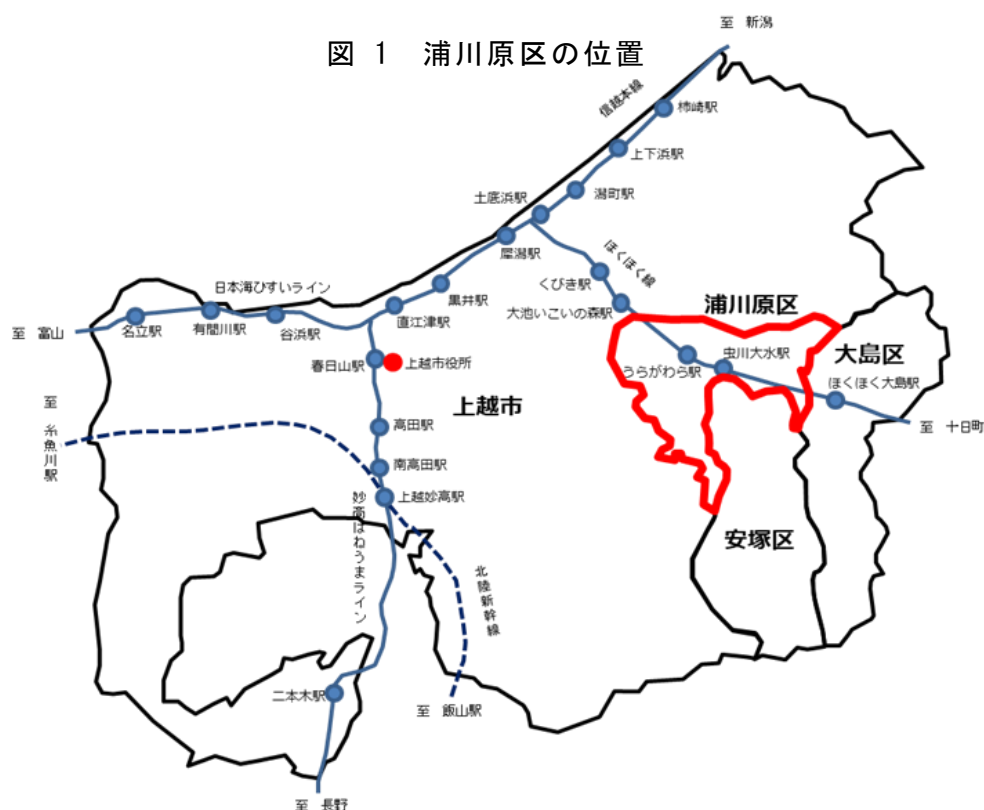
令和 6 年 4 月

浦川原区総合事務所

1 位置・地勢

浦川原区は、上越市の東部に位置し、東は大島区、南は安塚区、西は三和区と牧区、北は頸城区と吉川区に隣接し、大島区と安塚区とともに東頸地域を構成している。

総面積50.64km²、東西に走る国道253号と並行して一級河川保倉川が横断し、その保倉川を中心に農工商が発展している中山間地域である。



2 沿革

昭和23年（1948年）5月3日、「日本国憲法」の施行により、地方自治制度が大幅に改革され、社会・経済・文化の変化に伴い、住民の日常生活のための行動範囲は、これまでの町村区域をはるかに越えて大きくなった。当時、新潟県には377の町村があり、平均人口5,300人程度で、地方行政調査委員会が示した基準に達していない町村が327町村あった。

昭和28年（1953年）9月10日、「町村合併促進法」が公布されると、東頸城郡下の町村議会議長による町村合併促進委員会が発足して安塚村月影地区・中保倉地区と下保倉村全域の合併機運が高まり、昭和30年（1955年）3月31日付けで、面積48.7K m²、人口7,943人、1,253戸の浦川原村が誕生した。

翌年、牧村の坪野・平方両集落から浦川原村への編入の請願を受け、6年にわたる歳月を経て、昭和36年（1961年）4月1日付けで現在の浦川原区を形成した。

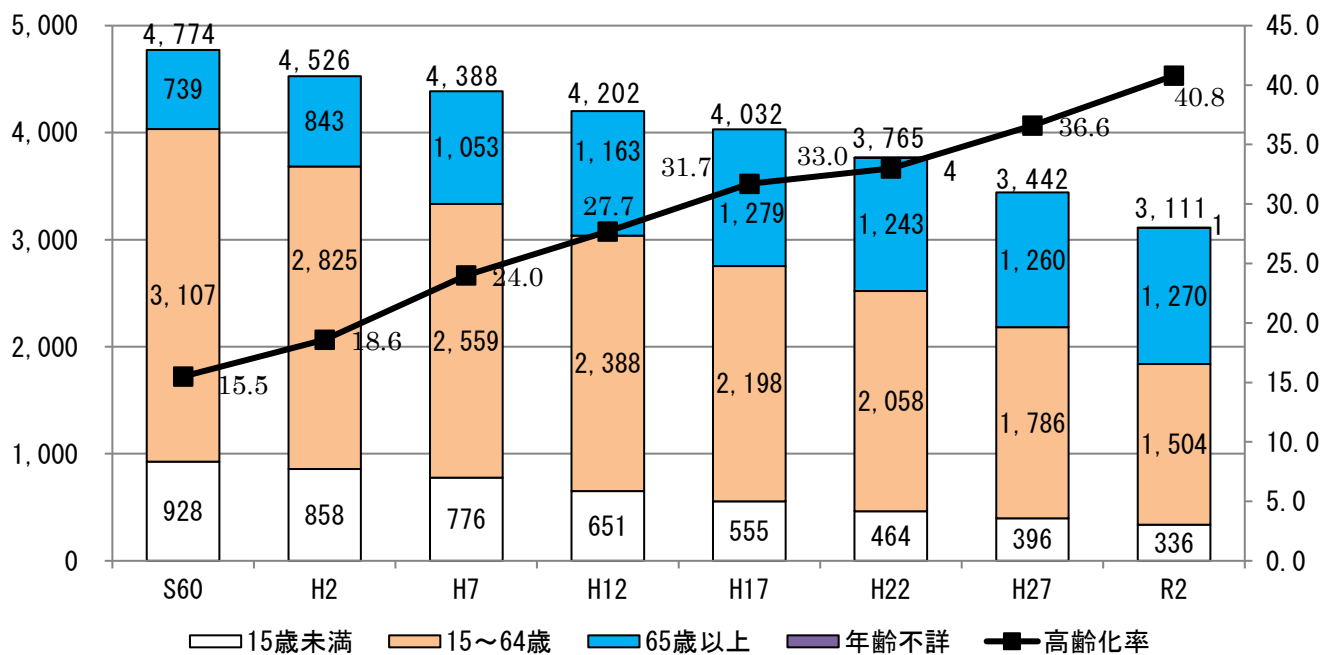
平成17年（2005年）1月1日、合併前上越市に近隣の13町村が編入合併して現在に至る。

3 人口・世帯

直近の令和2年国勢調査（10月1日現在）では、区内人口の総数は3,111人、うち65歳以上は1,270人であり区内人口に占める割合（高齢化率）は40.8%である。また、世帯数は1,051世帯となっている。住宅団地造成等の定住促進によって、一時的に人口や世帯の減少は抑制されたものの、総じて年々減少している。

令和6年3月末現在の住民基本台帳に基づく浦川原区の人口は2,850人、高齢化率は42.14%である。また、上越市の高齢化率は33.97%、新潟県は34.0%、全国は29.1%であり、浦川原区は、上越市全体と比較し、8.2ポイント、新潟県を8.1ポイント、全国を13.0ポイント上回っている。

□ 年齢（3区分別）人口及び高齢化率の推移



資料：国勢調査（各年 10/1 現在）

□ 世帯数・人口等の推移

区 分	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
世 帯 数 （ 世 帯 ）	1,241	1,194	1,183	1,193	1,187	1,130	1,091	1,051
生産年齢人口比率	65.1%	62.4%	58.3%	56.8%	54.5%	54.7%	51.9%	48.0%
総 人 口 （ 人 ）	4,774	4,526	4,388	4,202	4,032	3,765	3,442	3,111

資料：国勢調査（各年 10/1 現在）

4 旧小学校区・町内会の概況

□ 旧小学校区別の世帯数・人口・人口比率等の状況（住民基本台帳による）

地区名	世帯数	人口	平均年齢 (歳)	人 口 比 率		
				15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上
下保倉	528	1,422	52.7	10.1	50.9	40.0
末広	240	706	51.3	10.2	52.8	37.0
月影	113	230	64.0	5.7	32.2	62.1
中保倉	209	492	59.0	5.3	45.7	49.0
区全体	1,090	2,850	54.4	8.9	48.9	42.1

資料：総務・地域振興グループ（R6.4.1 現在）

□ 産業(大分類)別 15 歳以上就業者数の推移（単位：人）

区 分	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
第 1 次 産 業	571	503	348	340	218	178	124
第 2 次 産 業	923	855	762	684	570	547	467
第 3 次 産 業	1,000	1,050	1,094	1,021	1,002	997	946
分 類 不 能	-	1	1	4	113	9	60
合 計	2,494	2,409	2,205	2,049	1,903	1,731	1,597

資料：国勢調査（各年 10/1 現在）

□ 町内会毎の世帯数・人口・人口比率等の状況（住民基本台帳による）

町内会名	世帯数	人口	平均年齢 (歳)	人 口 比 率			地区名
				15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上	
釜淵	22	59	63.4	3.4%	40.7%	55.9%	下保倉
有島	80	216	53.3	11.1%	50.0%	38.9%	
顕聖寺	152	386	50.6	11.4%	54.4%	34.2%	
下柿野	28	65	50.7	12.3%	55.4%	32.3%	
上柿野	6	16	64.0	0.0%	50.0%	50.0%	
東俣	8	15	66.5	0.0%	33.3%	66.7%	
上岡	32	93	55.7	6.5%	52.7%	40.9%	
杉坪	3	6	72.2	0.0%	16.7%	83.3%	
横川	64	180	50.6	13.9%	46.1%	40.0%	
六日町	25	59	52.4	6.8%	52.5%	40.7%	
日向	15	39	58.9	5.1%	46.2%	48.7%	
印内	27	61	55.4	8.2%	49.2%	42.6%	末広
山印内	48	130	53.4	7.7%	51.5%	40.8%	
飯室	114	363	48.4	12.7%	54.3%	33.1%	
今熊	18	57	52.8	12.3%	50.9%	36.8%	
山本	33	95	55.6	4.2%	52.6%	43.2%	
桜島	12	43	51.7	14.0%	41.9%	44.2%	下保倉
岩室	3	8	55.1	12.5%	62.5%	25.0%	
長走	38	124	51.4	7.3%	58.1%	34.7%	
菱田	40	113	50.9	10.6%	50.4%	38.9%	
谷	20	28	72.0	0.0%	32.1%	67.9%	月影
真光寺	7	15	62.3	6.7%	33.3%	60.0%	
横住	31	58	67.8	3.4%	27.6%	69.0%	
坪野	7	13	72.3	0.0%	30.8%	69.2%	
熊沢	34	88	59.1	8.0%	35.2%	56.8%	
法定寺	11	24	57.8	12.5%	33.3%	54.2%	
追出	3	4	77.5	0.0%	25.0%	75.0%	
虫川	64	163	56.9	6.1%	49.7%	44.2%	中保倉
中猪子田	77	190	57.4	5.8%	46.3%	47.9%	
下猪子田	11	30	56.6	10.0%	46.7%	43.3%	
小蒲生田	5	7	55.9	0.0%	71.4%	28.6%	
小谷島	22	48	58.8	4.2%	43.8%	52.1%	
蕨岡	17	36	66.9	0.0%	38.9%	61.1%	
上猪子田	11	16	83.9	0.0%	0.0%	100.0%	
小麦平※	2	2	86.5	0.0%	0.0%	100.0%	
区全体	1,090	2,850	54.4	8.9%	48.9%	42.1%	

※小麦平については無居住状態

※網掛けは集落づくり推進員の対象町内会

資料：総務・地域振興グループ（R6.4.1 現在）

5 農業

農業・農村は、私たちが生きていく上で欠かせない食料を供給し、その生産活動の中で、国土の保全や水源のかん養、長きにわたって形成・継承されてきた文化や伝統など、私たちの暮らしに様々な恵沢をもたらしている。

浦川原区においても、古くから農業が経済と生活文化の中心にあり、水稻の単作地帯として、令和 6 年 4 月現在、186 戸が農業を営んでいるものの、経営面積が 1.0 ha 未満の小規模経営農家が多く、農業者の高齢化と後継者の確保が大きな課題として顕在化している。

区内では、令和 6 年 4 月現在、約 246 ha の水田に主要品種である「コシヒカリ」を中心に作付けされており、近年は農地の集約化と経営規模の拡大も相まって、酒造好適米やもち米、業務用に適した「こしいぶき」「つきあかり」といった早生から晩生まで幅広い品種に取り組まれている。

平坦部では昭和 50 年代から 60 年代にかけて基盤整備が行われたものの、山間部では未整備のほ場が多く、水田の立地が急傾斜地にあることに加え、農道の整備やため池、天水田に伴う用水不足など、厳しい生産環境下にある。

この中山間地域の農地と農村集落の振興を図るため、日本型直接支払制度等の支援制度を活用している。

また、上越随一の観光ぶどう園である山本ぶどう園では、マスカットベリー A やシャインマスカットが栽培されているほか、希少な「上越丸えんぴつナス」などの園芸作物も栽培されている。

□ 経営耕地規模別の農家数の推移

(単位：戸)

区分	計	販 売 農 家							自給的 農 家
		例外 規定	0.3ha ゝ 0.5ha	0.5ha ゝ 1.0ha	1.0ha ゝ 1.5ha	1.5ha ゝ 2.0ha	2.0ha ゝ 3.0ha	3.0ha 以上	
R2	238	8	39	42	27	12	9	11	90
H27	326	4	52	73	41	20	10	8	118
H22	412	1	71	99	52	22	12	7	148
H17	522	2	92	144	71	28	6	6	173

資料：農林業センサス（各年 2/1 現在）

【農地保全、農業振興対策の状況】

- ・認定農業者数 71 人（R6.4.1 現在）
- ・令和 5 年度水稻作付面積（水張り面積）：246.4ha 水稻作付農家数：186 戸
- ・多面的機能支払（R5 年度実績）
 - ①農地維持支払取組数：19 集落 交付対象面積：229.05ha
 - ②資源向上支払（共同）取組数：13 集落 交付対象面積：174.41ha
 - ③資源向上支払（長寿命化）取組数：5 集落 交付対象面積：73.87ha
- ・中山間地域等直接支払（R5 年度実績）
 - 取組協定数：16 集落協定 139.9ha 3 個別協定 29.9ha 取組面積計 169.9ha

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ

6 工業

工業団地の造成では、平成元年に印内地内に第一工業団地が、平成４年に飯室地内に第二工業団地が完成し、機械部品や製材、鉄鋼関係の企業が進出している。

令和３年（経済センサス）は、５事業所、従業者数５９人、製造品出荷額は総額で５億５,５９１万円となっている。

下記の表は、工業統計の実施年以外は、経済センサスの数値を用いている。（下記表の網掛け年が経済センサス）

また、工業統計は令和２年に終了しており、今後は経済センサスのみとなるが、令和４年以降からは、経済構造実態調査として国が直接業者に委託する形で実施している。

このことから上越市全体の数字は出るが１３区毎の調査結果は出ないとのこと。

（市総合政策部統計係確認済み）

□ 工業統計調査：従業員４人以上の事業所の状況の推移

区分	事業所数	従業者数 (人)	現金給与 総額 (万円)	原 材 料 使用額等 (万円)	製造品出荷額		付加価値額 (万円)
					総 額 (万円)	うち製造品 出荷額(万円)	
R3	5	59	15,474	27,086	55,591	30,171	24,442
R2	8	181	51,998	141,248	266,296	193,111	105,091
H30	7	153	44,348	132,221	297,575	176,179	122,853
H28	6	149	43,082	135,929	224,695	158,718	65,704
H27	8	162	54,016	134,606	258,617	197,096	98,919
H26	6	123	43,231	147,491	271,082	197,108	105,451
H25	6	125	41,094	99,147	194,678	109,128	86,018
H24	5	109	38,980	110,283	210,904	158,910	88,799
H23	9	134	41,752	118,506	228,072	210,009	98,201
H22	6	112	37,607	118,291	231,654	190,754	105,908
H21	8	124	50,004	106,764	236,660	208,653	123,090
H20	10	144	54,277	137,277	281,299	255,671	136,528
H19	6	134	54,095	128,412	267,616	245,909	131,813

資料：工業統計調査、経済センサスー活動調査

7 商業

全国的な人口の減少と高齢化が進む状況は、中山間地域に顕著に表れており、地元商店での個人消費の縮小を招いている。商店数も一時的な増加は見られるものの減少傾向にあり、平成 28 年に行われた商業統計調査では、34 事業所、従業者数 216 人、年間商品販売額は 35 億 6,000 万円となっている。

□ 商業状況の推移

区分	事業所数 (店舗)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	商品手持額 (百万円)	売場面積 (㎡)
H28	34	216	3,560	—	2,757
H26	27	133	2,278	18	1,341
H24	39	224	3,550	303	4,319
H19	59	286	4,746	441	4,602
H16	72	255	4,326	—	5,473

※商品手持額の「—」は、簡易調査の年で調査が実施されていない。

資料：商業統計調査、経済センサスー活動調査

□ 産業（中分類）別民営事業所数及び男女別従業者数の推移（単位：事業所・人）

区分	事業所数	従業者数		
		計	男	女
H28	163	1,137	660	477
H26	192	1,373	767	606
H21	210	1,426	853	573
H18	233	1,526	911	615
H13	256	1,834	1,110	724
H8	256	2,026	1,213	813

資料：経済センサスー活動調査

8 学校・社会教育

小学校は、区内の下保倉地区、末広地区、月影地区、中保倉地区の4地区にそれぞれあったが、平成13年3月31日に月影地区の月影小学校が下保倉小学校と統合した。また、平成29年4月1日には、下保倉小学校・末広小学校・中保倉小学校が統合し、新たに浦川原小学校が開校した。

中学校は、令和6年4月1日に安塚区、浦川原区、大島区の中学校在統合し、新たに東頸中学校が開校した。

□ 学年別児童生徒数

(単位：人)

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
浦川原小学校	18	18	23	16	21	25	121
東頸中学校※ () 内は浦川原区の生徒数	29 (21)	40 (22)	26 (13)	-	-	-	95 (56)

※東頸中学校は令和5年度まで浦川原中学校

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ (R6.4.1 現在)

□ 児童生徒数の推移

(単位：人)

区 分	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
浦川原小学校	167	158	155	140	131	134	127	121
東頸中学校※	81	84	86	93	85	71	59	95

※東頸中学校は令和5年度まで浦川原中学校

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ (R6.4.1 現在)

□ 社会教育施設

施 設 名	構 造 等
地区公民館	鉄筋コンクリート3階建 延床面積 1,107.88 m ²
高田図書館浦川原分館	浦川原地区公民館1階に併設 253.63 m ² 所蔵資料数 20,756 冊
体育館	鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨鉄筋コンクリート2階建 延床面積 3,149.10 m ² 1階 アリーナ、トレーニングルーム 2階 多目的ホール、ジョギングコース
浦川原プール	令和6年3月31日廃止

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ (R6.4.1 現在)

《国指定》

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	時 代
天然記念物	虫川の大スギ		昭 12. 4. 17	虫川	

《県指定》

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	時 代
彫 刻	木造十一面観音立像	1 軀	昭 29. 2. 10	熊沢	平安後期
工 芸 品	金銅五鈷鈴 銅五鈷杵	1 口 1 口	昭 40. 4. 7	法定寺	鎌倉期

《市指定》

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	時 代
彫 刻	木造薬師如来坐像	1 軀	昭 58. 12. 23	顕聖寺	平安末期
〃	木造狛犬	2 軀	〃	虫川	鎌倉後期
〃	木造天武仏頭	1 個	昭 61. 5. 19	虫川	平安後期
〃	銅造千手観音菩薩立像	1 軀	〃	岩室	鎌倉後期
〃	木造広目天像	1 軀	昭 62. 5. 28	虫川	室町前期
工 芸 品	壺	1 口	昭 61. 5. 19	岩室	〃
〃	法定寺経塚出土品		平 8. 12. 24	法定寺	平安末期
〃	打鐘	1 個	平 8. 12. 24	法定寺	室町時代
歴 史 資 料	棟札	4 枚	昭 61. 5. 19	虫川	鎌倉中期～ 江戸後期
考 古 資 料	顕聖寺遺跡出土品	一括	昭 59. 6. 22	釜淵	縄文初～晩
〃	多嘴瓶	1 口	昭 59. 6. 22	釜淵	平安後期
〃	和鏡	一括	昭 59. 6. 22	釜淵	鎌倉初期
〃	刀子	短刀 2 振り	昭 59. 6. 22	釜淵	鎌倉時代
民 俗 芸 能	月影雅楽		平 16. 3. 24	月影地区	
〃	飯室神楽		平 16. 3. 24	飯室地区	
有 形 民 俗	竜笛		昭 62. 5. 28	谷	平安時代
史 跡	五輪塔		昭 62. 5. 28	虫川	南北朝時代
〃	虫川城跡		昭 51. 3. 31	虫川	
〃	今熊窯址		昭 52. 3. 30	今熊	
〃	境原遺跡		平 4. 4. 21	飯室	

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ（R6. 4. 1 現在）

□ 地域の宝認定

名 称	認定年度	所在地	申請者
保倉川太鼓	R2	浦川原区顕聖寺 109	特定非営利活動法人保倉川太鼓
虫川の大スギ	R2	浦川原区虫川 1492	虫川の大スギを守る会
山田あき歌碑	R2	浦川原区菱田大沢口 645-1	菱田町内会
聖徳太子像	R2	浦川原区菱田 622	菱田町内会
雁金城跡	R4	浦川原区上岡市ノ口 1748	雁金城跡保存会
飯室神楽	R4	浦川原区飯室	飯室神楽保存会

資料：浦川原区総合事務所 教育・文化グループ（R6. 4. 1 現在）

9 医療・福祉

区内には、医療・福祉施設として、民間ではあるが、診療所 2 か所と歯科医院 2 か所、老人福祉施設、就労支援施設等がある。

うらがわら保育園は、下保倉・月影・末広・中保倉保育所が統合し、平成 16 年 4 月 1 日に開園した。

□ うらがわら保育園児数

(単位：人)

区分	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
5 歳児	25	26	21	15	24	22	20	14
4 歳児	24	21	15	23	22	20	14	10
3 歳児	19	17	23	21	21	13	12	13
2 歳児	11	22	13	19	12	13	13	9
1 歳児	17	10	18	8	12	12	11	7
0 歳児	3	3	1	3	3	4	2	2
計	99	99	91	89	94	84	72	55

資料：浦川原区総合事務所 市民生活・福祉グループ (R6. 4. 1 現在)

◎高齢者世帯、ひとり暮らし世帯の状況 (R6. 4. 1 現在)

- ・ 高齢者のみ世帯数 433 世帯 (653 人)
- ・ うち、ひとり暮らし高齢者世帯数 217 世帯 (217 人)

◎要援護世帯除雪費助成事業の令和 5 年度の利用実績 (R6. 4. 19 現在)

- ・ 33 件 701,350 円

(参考)

この事業は、要援護世帯の家屋の屋根及び玄関前の必要最小限の除雪作業に要する費用の一部を助成する事業。

□ 要援護世帯除雪費助成事業における費用負担表

区 分	説 明
市要綱	上越市の「要援護世帯除雪費助成事業」が適用され、費用を市が負担。
災害救助法	災害救助法が適用され、費用を国と県が負担。

<助成額>

- ・ 72,100 円 (1 世帯当たり上限額：要綱)

□ 介護老人保険施設及び老人福祉施設等

施 設 名	定員（人）
介護老人保健施設 保倉の里	95
認知症対応型共同生活介護グループホーム 癒しの家	18
特定非営利活動法人 認知症高齢者グループホームはなぞの	9

□ 就労支援施設・共同生活施設

施 設 名	内 容
特定非営利活動法人 大杉の里	就労継続支援非雇用型、就労移行支援・相談等
グループホーム ゆめほーむ	共同生活援助
グループホーム ユニス菱田	共同生活援助
グループホーム となりぐみ	共同生活援助

□ 病院・診療所等

施 設 名	診 療 科 目
浦川原診療所	内科、アレルギー科、呼吸器科、消化器科、整形外科
保倉の里診療所	整形外科、外科、内科
小菅歯科医院	歯科
丸田歯科医院	歯科

資料：浦川原区総合事務所 市民生活・福祉グループ（R6.4.1現在）

10 道路・河川

当区には、一級河川「保倉川」と平行して国道 253 号が東西に横断しており、主要地方道柿崎牧線が中央を南北に縦断しているほか、上越安塚柏崎線が南部地域を東西に横断している。

また、国道 253 号は北陸地方と首都圏を結ぶ最短路線として位置付けられ、大型貨物自動車の交通量も増加傾向にあることから、上越市と南魚沼市を結ぶ「上越魚沼地域振興快速道路」の早期整備が望まれている。

鉄道は、六日町と上越市を結ぶ第三セクター鉄道「北越急行」が平成 9 年に開業し、通学・通院のほか、首都圏への移動にも多く利用されるなど、住民の利便性向上に貢献している。

市道は 172 路線、実延長 132.89 km であり、規格改良済の比率は、第 1 級路線 95.6%、第 2 級路線 92.6%、その他路線 43.9%となっている。

□ 市道の現況

(単位：路線：m)

種別	路線数	実延長	規格改良済	未改良	永久橋		トンネル		歩道延長 (設置延長)
					個数	延長	個数	延長	
第 1 級	10	25,076.9	23,969.6	1,107.3	8	311.6	-	-	72.0
第 2 級	8	18,100.9	16,756.1	1,344.8	8	161.9	-	-	133.7
その他	154	89,714.9	39,385.5	50,329.4	36	393.3	-	-	387.9
合 計	172	132,892.7	80,111.2	52,781.5	52	866.8	-	-	593.6

(つづき)

(単位：m)

種別	規格改良済				未改良			
	19.5m 以上	13.0m 以上	5.5m 以上	5.5m 未満	5.5m 以上	3.5m 以上	3.5m 未満	うち自動車 交通不能
第 1 級	-	19.0	8,275.5	15,675.1	-	-	1,107.3	630.6
第 2 級	-	-	2,480.6	14,275.5	-	195.8	1,149.0	-
その他	14.8	58.8	7,874.1	31,437.8	39.7	2,921.4	47,368.3	9,585.3
合 計	14.8	77.8	18,630.2	61,388.4	39.7	3,117.2	49,624.6	10,215.9

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ (R6.4.1 現在)

◎農道延長 (資料：浦川原区総合事務所 産業グループ R6.4.1 現在)

市管理：14,956m 地元管理：79,900m

◎林道延長 (資料：浦川原区総合事務所 産業グループ R6.4.1 現在)

自動車道 1 級：0.0m 自動車道 2 級：13,884m 合計：13,884m

□ 主な河川（1級河川）

河川名	延長	源	合流点
保倉川	54.7km	大島区菖蒲（野々海峠）	上越市港町（関川）
猿俣川	4.0km	浦川原区上岡	浦川原区横川
柿野川	2.6km	〃 上柿野	〃 横川
高谷川	11.5km	牧 区切光	〃 有島
平方川	1.8km	〃 平方	〃 横住
小黒川	13.7km	安塚区伏野（不動滝）	〃 釜淵
細野川	5.5km	〃 細野	〃 虫川
熊谷川	4.4km	浦川原区上猪子田	〃 蕨岡

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R6.4.1現在）

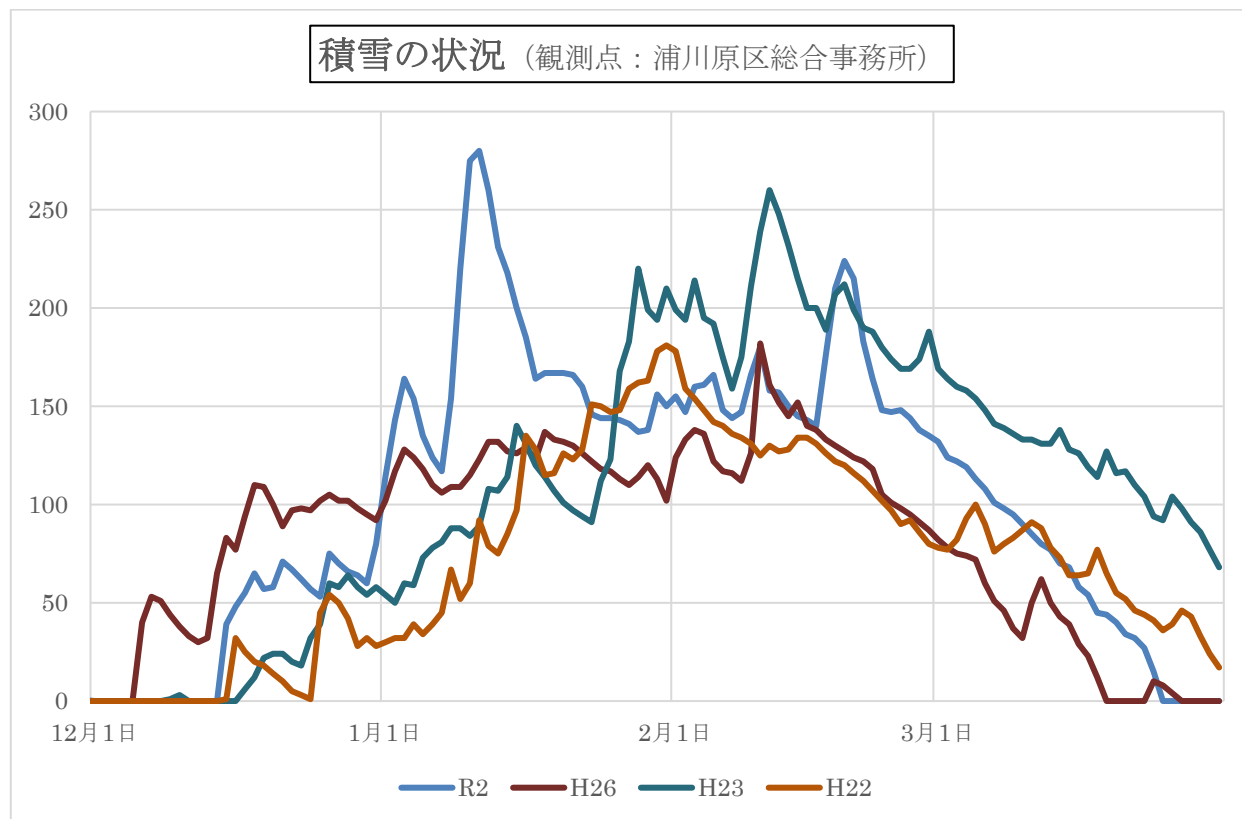
□ 市道除雪延長（令和5年度除雪計画）

（単位：km）

区分	車 道	路線別内訳				歩道
		特1種路線	1種路線	2種路線	3種路線	
延長	73.29	0.00	13.52	52.47	7.47	1.23

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R6.4.1現在）

□ 積雪の状況（豪雪時）



□ 農村公園の状況

(単位：㎡)

名 称	設置年度	住所	公園面積
山本公園	S48	上越市浦川原区山本 1325-1	40,332.33
菱田大池公園	H8	上越市浦川原区菱田 742-1	10,119.10
虫川城跡公園	S62	上越市浦川原区虫川 1521	3,621.70

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ（R6.4.1現在）

□ 河川公園の状況

(単位：㎡)

名 称	設置年度	住所	公園面積
沢口ふるさと公園	H8	上越市浦川原区中猪子田	29,650
桜つつみ公園	H8	上越市浦川原区長走	4,900
谷ふれあいパーク	H7	上越市浦川原区谷	2,730

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R6.4.1現在）

1 1 公営住宅

公営住宅の管理戸数は78戸、令和6年4月1日現在の入居率は64.1%。

□ 公営住宅の状況

名 称	建設年度	構造・棟数	管理戸数	入居戸数
市営山印内住宅	S53	簡易耐火3階建 1棟	10	4
市営顕聖寺住宅1号棟	S54	簡易耐火3階建 1棟	10	4
市営顕聖寺住宅2号棟	S61	木造3階建 1棟	10	6
市営虫川住宅1号棟	S62	木造3階建 1棟	4	2
市営虫川住宅2号棟	S62	木造3階建 1棟	6	4
市営飯室住宅	S63	木造3階建 1棟	10	9
市営メゾン上池田住宅	H5	中耐4階建 1棟	12	8
市営メゾン山崎住宅（一般）	H11	中耐5階建 1棟	12	10
市営メゾン山崎住宅（特公賃）	H11	中耐5階建 1棟	4	3

資料：浦川原区総合事務所 建設グループ（R6.4.1現在）

1 2 観光・交流

霧ヶ岳温泉ゆあみは、浦川原区の健康福祉施設として平成4年にオープンして以来、区の福利厚生・観光振興を担ってきたが、市内中心部から遠方にあることや、市内外の温浴施設との競合により利用者数が減少したことから、平成29年3月に休止となり、令和5年4月1日に施設廃止となった。

宿泊体験交流施設「月影の郷」は、平成13年3月に閉校となった旧月影小学校を月影地区の拠点施設として位置付け、その利活用に当たり地域と関わりがあった4大学（法政・早稲田・横浜国立・日本女子）との協働事業で改修、再生し、平成17年4月に宿泊体験交流施設としてオープンした。スポーツ団体の合宿利用、季節に応じた各種体験（田植え、稲刈り、食体験）を楽しむことができ、平成11年から旧東頸城郡6町村が連携して企画・実施してきた「越後田舎体験事業」の活動施設として首都圏を中心に誘客活動を進めたことにより、利用者が年々増加し、浦川原区の交流拠点となった。

山本ぶどう園は浦川原区西部の三和区と接するところに位置し、標高150mの「山本山」にある。20戸の農家が約7haのぶどう園を営んでおり、上越市随一の規模となっている。

□ 観光施設利用者の推移

（単位：人）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
霧ヶ岳温泉ゆあみ	17,217	休止	休止	休止	休止	休止	休止	廃止
月影の郷	7,039	7,944	7,245	6,844	2,736	5,247	6,396	6,013
山本ぶどう園	16,615	12,500	12,000	12,200	14,600	12,200	10,000	10,000

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ（R6.4.1現在）

□ 越後田舎体験受入実績（浦川原区分）

年度	団体数	リピート率	団体の内訳				人数	泊数	うち民泊	
			小学校	中学校	高校大学	団体等			団体数	泊数
R5	7	－	1	4	0	2	226	46	0	0
R4	7	－	1	5	1	0	275	38	0	0
R3	3	－	0	2	1	0	119	0	0	0
R2	0	－	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	13	62.5%	3	8	1	1	421	109	7	75
30	16	81.2%	4	10	0	2	526	54	6	54
29	10	90.0%	3	7	0	0	302	101	5	57
28	12	50.0%	3	9	0	0	459	108	6	92
27	9	88.8%	2	7	0	0	318	150	4	94

資料：浦川原区総合事務所 産業グループ（R6.4.1現在）

1 3 消防・防災

上越市消防団浦川原方面隊は 2 分団で組織され、東分団は有島、月影、虫川、中猪子田、小谷島の 5 消防部、西分団は顕聖寺、長走、横川、末広の 4 消防部で構成されている。

自主防災組織は区内 35 町内会のうち 31 町内会で結成されており、それぞれが消防団と連携しながら避難訓練等を行っている。また、平成 29 年 11 月に上越市防災士会浦川原支部が設立され、地域防災力の強化に向けて活動を行っている。

□ 消防力の概要

区分	団員	分団	部	消 防 ポ ン プ 車	積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	防火水槽		消火栓
							有蓋	無蓋	
総数	175 人	2 分団	9 部	2 台	11 台	19 台	59 基	22 基	239 基

資料：浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ（R6.4.2 現在）

□ 自主防災組織の結成状況

対象町内会数	結成町内会数	世帯数ベースでの組織化状況		
		世帯数	結成済の世帯数	組織率
35	31	1,003	983	98.0%

※世帯数は各集落からの報告数による

資料：浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ（R6.4.1 現在）